

経済産業省「未来の教室」STEAMライブラリー 一般公開

～順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先任教員の

「おしゃべり病理医のMEdit Lab –医学Medicine×編集Editで世界を読む」も公開へ～

順天堂大学医学部人体病理病態学講座(順天堂大学医学部附属練馬病院 病理診断科)の小倉加奈子先任教員が、編集工学研究所と協力し、医学分野として唯一採択された、学際的な教育コンテンツ「おしゃべり病理医のMEdit Lab –医学Medicine×編集Editで世界を読む」が、経済産業省「未来の教室」STEAMライブラリー(<https://www.steam-library.go.jp/>)で一般公開されました。

■内容

経済産業省「未来の教室」ビジョンにおいて提唱した「学びのSTEAM化」実現に向けたSTEAMライブラリー事業の概要が公表され、2020年8月12日に公募が開始されました。

順天堂大学医学部人体病理病態学講座 小倉加奈子先任教員は、編集工学研究所と協力し、高校生～一般向けの医学をめぐる学際的な教育コンテンツ「おしゃべり病理医のMEdit Lab –医学Medicine×編集Editで世界を読む」を提案し、医学分野として唯一、本学が採択されました。

この「おしゃべり病理医のMEdit Lab」は、中学・高校で学ぶカリキュラムと医学を重ね合わせた教材で、「医学×バイオ」「医学×歴史」「医学×読書」の3つのテーマから構成されています。医学を別の視点から見つめ直す学際的な内容で、情報編集の方法を通して、様々な見方を体得するプログラムです。



全12コマ

- 14の映像コンテンツ
- 13のワーク
- 12のワークブック
- 12の指導要領



ガイダンス&プレワーク

学びのターゲットとコンテンツの紹介「医学×バイオ」につながるプレワーク



医学×バイオ

ウイルスバトルカードゲームをはじめとしたユニークなワークを通し、ウイルスの生命戦略と免疫機能の仕組みに学ぶ



医学×歴史

病名と世界史、道具と医学の発展、病院と感染症の歴史についてのレクチャー&不思議なワーク



医学×読書

カルテと医療面接、Twitter創文を通してSNSの在り方を考える、モード文体術と目次読書ワーク

■メッセージ

順天堂大学医学部人体病理学講座(練馬病院 病理診断科) 小倉加奈子 前任准教授

医学は専門性が高く、医学部で学ぶという意識が強すぎるせいか、中等教育において医学を扱う試みはほとんどありません。しかし、医療の在り方も医学の将来像も、社会の変化に伴って変わっていくものです。ウィズコロナの時代は特に、医学や医療を多様な視点から観察、評価し、変革していく“総合的な知の力”が必要です。

このたび、将来、医療に何らかの形で関わりたいと思っている高校生を中心とした若い方々向けに、医学や医療を多角的にみる柔軟な視野を獲得するための教育コンテンツを開発しました。ウイルス感染とSNSの情報拡散との類似性を見出すような異なるデータを重ね合わせる分析力、医学の歴史を技術革新や病名の変遷とともに考察する歴史観、そして情報を取り入れ発信していく情報編集力とコミュニケーション能力を伸ばしていく、ユニークな教材です。ご家庭でも学校でも広く使っていただけるよう、映像レクチャーもワークブックも「学びたい！」と思わせる工夫を随所に盛り込み、指導案も厚くしました。先生もご家族もぜひ、この教材を活用され、生徒さん、お子さんと一緒にわくわく学んでいただければ幸いです。

■今後の展望

中学、高等学校ではもちろん、大学や企業でもぜひ自由にご活用いただくようにこれから様々に展開していきたいと考えています。教材の使い方など随時ご相談に乗れるような場の構築も計画中です。

※「未来の教室」STEAMライブラリー事業

【STEAMとは?】

STEAMは、Science, Technology, Engineering, Art(s), Mathematicsの頭文字をとった名称であり、課題発見から課題解決まで、協働にも重きを置く、教科横断的な探究学習の意味で使われることが多い。(今回本学が提案したコンテンツは、MがMathematicsではなく、Medicine(医学)であることに特色があります。)

STEAMは、これからの世界を生きていく子ども達に必要な資質・能力を得る学び方(創造・共創・共存)であり、世界的に見られる、「学際的な研究活動・創造活動」を低年齢化させる教育改革の中心的な概念と言える。発祥の米国を始め、英国、中国、他アジア諸国等では、国の教育政策の軸にも据えられ始めている。日本国内に目を移しても、新学習指導要領の中には共通する考え方が内包されている。

【何をどうやって学ぶのか?】

「さまざまな“循環”がある学びであること」「『その中心に“ワクワク”があること』を重視し、学び手の主体的な行動が展開される。学び手の好奇心を多方向に広げ、当事者意識を育てていく。



順天堂大学は、SDGsに取り組んでいます。

【本件に関するお問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属練馬病院 病理診断科
前任准教授 小倉加奈子
〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10
TEL:03-5923-3111 FAX:03-5923-3197
E-mail: byouri@juntendo-nerima.jp

【取材に関するお問い合わせ先】

順天堂大学 総務部 文書・広報課
(担当: 松浦剛志)
〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1
TEL:03-5802-1006 FAX:03-3814-9100
E-mail: pr@juntendo.ac.jp